

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
川崎マイルーズ	2018/5/16	SIII	川崎	1600m	ハイペース	良	能力比較

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	ヨヨギマック	牡7	57	町田	スクリーンヒーロー	ロベルト系	サンデーウェル	サンデー系	B	C	C	B	C	B	×3	
2	2	ジョーオリオン	牡9	57	藤本	タイムメジャー	サンデー系	ジェイドロバリー	ミスプロ系	D	D	D	B	D	D		
3	3	インフォーマー	牡7	57	張田	タイムパラドックス	ロベルト系	ナグルスキー	ノーザン系	B	C	B	B	B	B	△1	
	4	ジャーニーマン	牡5	57	本橋	サウスヴィグラス	ミスプロ系	アサティス	ノーザン系	B	B	B	B	B	B	×1	
4	5	ウェイトアンドシー	セ7	55	今野	オレハマッテルゼ	サンデー系	エプロス	ミスプロ系	A	B	A	C	B	B	○	
	6	ポイントブランク	牡8	57	吉原	Ghostzapper	ノーザン系	Point Given	ミスプロ系	A	A	B	B	A	B	◎	
5	7	キスミープリンス	牡10	57	的場文	ノーリーズン	ロベルト系	フジキセキ	サンデー系	C	C	B	B	C	C		
	8	タイムズアロー	牡10	57	西村	タイムパラドックス	ロベルト系	サンデーサイレンス	サンデー系	B	C	C	B	C	B	×2	
6	9	オメガヴェンデッタ	セ7	57	真島	ゼンノロブロイ	サンデー系	ホホワイトマズル	ノーザン系	A	B	C	C	B	B	△3	
	10	ラインハート	牝7	55	笹川	ステイゴールド	サンデー系	クロフネ	ノーザン系	B	B	B	B	B	B	△2	
7	11	バルダッサレ	牡5	57	内田	アンライバルド	サンデー系	フジキセキ	サンデー系	B	B	D	B	C	C		
	12	ムサシキングオー	牡9	57	本田	キングヘイロー	ノーザン系	ラストタイクーン	ノーザン系	B	B	B	B	B	B	▲	
8	13	セイスコーピオン	牡8	58	赤岡	デュランダル	サンデー系	アジュディケーティング	ノーザン系	A	A	C	B	B	C		
	14	オウマタイム	牡6	57	繁田	タイムパラドックス	ロベルト系	ジョリーズヘイロー	ヘイロー系	C	B	B	C	C	C		

隊列図	見解	ラップタイム
ウエイ オメガ オウマ ジャー タイム ムサシ ポイン セイス バルダ ヨヨギ キスミ ライン インフ ジョー ハイペース	<p>今月に入って昨年のU A Eダービーで2着に好走したエピカリスが大井に移籍するというビッグニュース。最近の南関東はJ R Aで壁にぶつかった馬がよく移籍するようになり、ケイアイレオーネ、リッカルド、ロワジャルダンなど、ダートグレード勝ち馬の移籍も珍しくなくなった。川崎マイルーズではダートグレード勝ち馬こそいないものの、出走馬14頭のうち9頭が元J R A所属、3頭がオープンクラスに在籍していた。南関東に移籍してからの実績はもちろん重視すべきだが、先週のケンタウルス賞◎ナンヨーマークではないが、この中に“J R A時代の実績の割りに”人気の盲点になっている馬がいるかもしれない。それでは予想にいきましょう。</p> <p>本命は叩き3走目でポイントブランクがさらに前進する。転入初戦の弥生特別ではJ R A 1000万下在籍のウェイトアンドシーに敗れたが、休み明け、馬体重+24キロではさすがに走れる状態ではなかった感じ。本馬はJ R Aで5勝、オープンクラスまで出世して、昨春のオアシスステークスではアルタイトル、センチュリオンに次ぐ3着に好走した馬。J R A時代の実績から能力の絶対値はポイントブランク>ウェイトアンドシーと判断していいだろう。(以下省略)</p>	回顧 次走狙い馬

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	ヨヨギマック	×3	転入初戦の卯月杯は見せ場なく8着に敗れたが、「JRA 5勝、オープンクラス在籍」はポイントブランクと同じ。ひと叩きされて一変する可能性はありそうで、人気がないなら押さえておきたい。		
2	2	ジョーオリオン		前走陽春賞では勝ち馬ポイントブランクに3.7秒離されての10着。重賞では荷が重い。		
3	3	インフォーマー	△1	重賞実績に乏しいものの、ここに来て一時期の不振を脱した感があり、前走陽春賞では勝ち馬ポイントブランクから0.5秒差の3着。2着ソッサスブレイは次走かしわ記念で8着とそれなりに走っており、同程度のパフォーマンスを見せた本馬なら南関東重賞で力が足りないことはないはず。		
	4	ジャーニーマン	×1	川崎1600mが得意な馬。南関東に移籍してからの5勝のうち4勝は川崎1500~1600mで挙げている。ただ重賞では苦戦気味で、昨年の川崎マイルズでは2番人気に推されながら9着と敗退。スムーズな先行策を打てないとやや脆い面があり、強力な先行馬がいる今回は力を出し切れないかもしれない。		
4	5	ウェイトアンドシー	○	JRAでは1000万下止まりだったが、地方に移籍してからはレースセンスとスピードを武器に目下3連勝。2走前にはJRA 1600万下在籍のラブミークンを下しており、JRAよりも地方の水が合っているのだろう。		
	6	ポイントブランク	◎	転入初戦の弥生特別ではJRA 1000万下在籍のウェイトアンドシーに敗れたが、休み明け、馬体重+24キロではさすがに走れる状態ではなかった感じ。JRA時代の実績から能力の絶対値はポイントブランク>ウェイトアンドシーと判断していいだろう。		
5	7	キスミープリンス		近走はオープン特別でも掲示板がやっという現状。重賞では荷が重いだらう。		
	8	タイムズアロー	×2	前走皇月盃の走りを見るとさすがに年齢による衰えを感じるが、3走前の報知グランプリカップでは2着ロフジャルダンから0.3秒差の6着とそこまで負けておらず、当時のパフォーマンスを出せれば、通用しても不思議ではないだろう。		
6	9	オメガヴェンデッタ	△3	前走フジノウェーブ記念で勝ち馬リッカルドに早めに交わされながら2着に好走。南関東でもうひと花咲かせそうな走りだったが、今回は実績のない1600m（コーナー4回の競馬も初めて）。JRA時代、1600m以上では【0.0.1.3】と結果を残せておらず、コース替わりが決してプラスではないだろう。		
	10	ラインハート	△2	人気のウェイトアンドシー、オメガヴェンデッタが前々でやり合えば、展開の恩恵を受けるはず。ただ牝馬限定のダートグレードはJRA 1000万下レベルの馬が勝てるレースなので、ダートグレード実績があるからといってここで能力上位とは思わないほうがいいだろう。		
7	11	バルダッサレ		古馬になってからは苦戦続きで、父アンライバルド同様に走る気持ちが切れてしまったか。川崎1600mも合っていない。		
	12	ムサシキングオー	▲	近走左回りの1600mで行われた重賞では17年京成盃ランドマイルズ2着、17年スパーキングサマーカップ3着と連続して馬券圏内に好走。大井で走ることが多いため、大井巧者のイメージはあるが、近走のパフォーマンスを比較すると、左回り1600mがこの馬のベスト条件といってよさそう。		
8	13	セイスコーピオン		実力上位も、大井以外の南関東では17年川崎マイルズ6着、17年埼玉新聞杯5着と結果を残せず。調教の動きもいまひとつで、コース替わり、休み明けで割引が必要では。		
	14	オウマタイム		揉まれ弱いので被されずに運べるのはプラスだが、同型に強力なウェイトアンドシー、オメガヴェンデッタがいるため、厳しい展開になるはず。粘り込みは期待できないだろう。		